

## 管内養豚場における実効性ある防疫計画作成に向けた

取組：岡山県津山家保 蛇島武久、森真理子

特定家畜伝染病発生に備え、管内養豚場（A～E）の防疫計画について畜主を交えて精査し、実効性向上に取り組んだ。A農場では既存の計画の一部で埋却候補地に岩盤層があり掘削不可能と判明したため、掘削可能な土地に変更。B及びC農場では、R7.12月に自主施工による埋却候補地の試掘を行い、土質及び湧水の有無を確認。同一経営体のD及びE農場は、豚舎が比較的民家に近い場所にあるため、汚染物品の搬送計画や複数ある埋却候補地の優先順位について畜主を交えて精査。また、D及びE農場についてレンダリング装置を使用したシミュレーションを作成し、既存の防疫計画と比較したところ、措置完了までに必要な日数は変わらないものの、装置の設置場所及びストックポイントの選定、人員配置、必要資材について検討が必要であることが判明。引き続き、防疫計画作成に畜主が主体的に取り組む必要性を丁寧に説明し、実効性向上に向けた取組を進める。